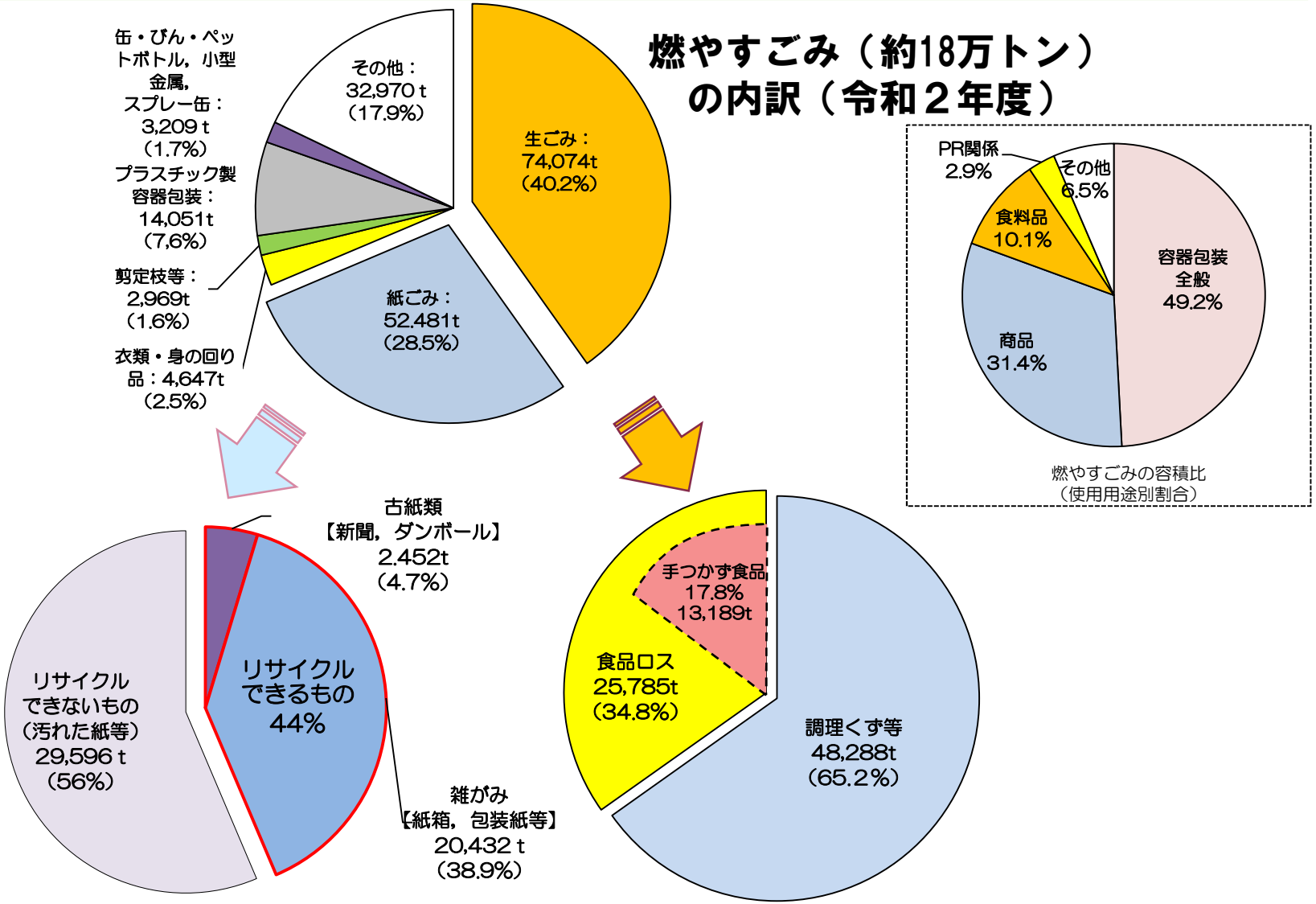
家庭ごみの現状と課題

- 生ごみが４割，紙ごみが３割と突出して多くなっています。
- 手付かず食品や食べ残しといった「食品ロス」が約２．６万トン，リサイクルが可能な雑がみが，約２．０万トン排出されており，この２つがごみ減量のターゲットとなります。